



国際センター通信 (No.102)

コロナ禍における国際センターの活動

土木学会における国際的活動の推進をミッションとする国際センターにとって、新型コロナウイルス感染症拡大により海外との往来が大きく制約されたことの影響は甚大であると言わざるを得ず、本学会においてもっとも影響を受けた部署の一つと言えよう。一方で、オンライン化のためのインフラ整備がなされ、国内のみならず海外との会議・シンポジウム等のオンライン国際交流に対するさまざまなバリアーが低下したことも事実である。コロナ禍での活動の動向を二、三報告する。

例年、土木学会国際貢献賞、国際活動協力賞のお祝いの会は総会の前日に開催され、記念講演会、交流会が開かれてきた。2019年度は都合により中止となったが、昨年はオンラインで開催された。内外の受賞者に参加頂き、オンラインによる各種行事開催の大きな可能性を改めて認識した。

また、これまで海外分会との会合は全国大会の折に来日された各分会長の皆さんとの会議形式により実施されていた。現在はこの時期に縛られることなくオンラインでより頻度の高い会議を実施している。先般、ベトナム分会との会合に参加する機会があり、学術交流基金助成によるシンポジウム開催、各種示方書英訳への要望、分室設備の充実など分会が求める具合的な内容について有意義な議論を深めることが出来

た。一方、昨年の名古屋での全国大会については、国際ラウンドテーブルミーティング、特別討論会などの準備を進めていた。これまでこれら国際イベントは全国大会の中でも付随的な位置づけであり、開催日時も日本人を対象とした一般講演・討論会と平行となっていた。しかし、土木学会における国際的活動の重要性、また海外への情報発信の必要性を踏まえ、令和二年度の全国大会では日本人・外国人双方を対象として、国際センターによる特別討論会を実施することで準備を進めていたが、コロナ禍により開催には到らなかった。今年度の東海大学湘南キャンパスでの全国大会では、オンラインによる新しい内容での企画を検討している。多くの皆様の参加をお願いしたい。



田中 仁 (土木学会
国際センター長)



土木学会国際貢献賞お祝いの会 (2020年8月27日)

JSCE-PII-MCA Joint Seminar (Online)

- Recent Advances and Practices of Concrete Materials, Structures, and Constructions in Indonesia, Japan, and Mongolia -

土木学会・インドネシア工学会・モンゴルコンクリート工学会のジョイントセミナーが3月2日から3日にわたって開催された。これまで、インドネシアにおいては土木学会とインドネシア工学会と、モンゴルにおいては土木学会とモンゴルコンクリート工学会との間でセミナーが開催されていた。今回のジョイントセミナーは、初めての三カ国によるジョイントセミナーであるとともに、委員会による初めてのオンラインセミナーであった。なお、スラバヤ工科大学、fibインドネシア分会*、そしてモンゴル工学会が共催としている。今回のセミナーでは、Zoomを活用した講演発表を行う一方で、Zoomに参加した視聴者だけでなく、YouTubeによるライブビデオ放送を行うことによって、数多くの視聴者が参加することができた。発表者の講演リストを表-1に示す。

※ fib インドネシア : The International Federation for Structural Concrete Indonesia

表1 発表者と発表タイトル

発表タイトル	発表者
Infrastructure Health Report of JSCE -Action to get understanding and cooperation of citizen-	Prof. Hikaru Nakamura, Nagoya University, Japan
Influence of reinforcement spacers on concrete durability and microstructure	Dr. Fadhilah Muslim, fib-Indonesia & Universitas Indonesia, Indonesia
Construction project of a hydraulic power plant in Asahan Regency, Indonesia	Mr. Toshimitsu Kobayashi, Shimizu Corp., Japan
Utilization of low-quality recycled aggregates in concrete	Dr. Batmunkh Narantuya, Mongolian University of Science and Technology, Mongolia
Hydration and chloride binding properties of blast furnace slag blended cement	Dr. Yao Luan, Saitama University, Japan
External reinforcement technique using FRP	Prof. Han Ay Lie, Diponegoro University, Indonesia
Recent guidelines and technical recommendations of mineral admixtures in Japan	Dr. Yasutaka Sagawa, Kyusyu University, Japan
Combination of Microbes, fly ash and bottom ash for High Volume Coal ash Concrete	Dr. Januarti Jaya Ekaputri, Sepuluh Nopember Institute of Technology, Indonesia
Application of fly ash cement to concrete structures in Japan -Dam construction case-	Mr. Takeshi Torichigai, Kajima Corp., Japan

今回のセミナーの主題は、「インドネシア、日本、モンゴルにおけるコンクリートの材料、構造、建設に関する最新技術と実務」であった。この主題は、これまでのセメント・コンクリート製造の実態をふまえ決定されたもので、発表者は、日本側、インドネシア側、そしてモンゴル側の研究者や実務者から選定された。現在、インドネシアとモンゴルの経済は急激に成長しており、インフラに対する需要が高まっている。そのため、高度経済成長期を過ぎ日本がこれまで経験してきたコンクリート技術に関する様々な課題や解決法について、インドネシア及びモンゴルへ展開することに大きな意義がある。さらに、インドネシアやモンゴルにおいて生じているコンクリートに関する課題を、日本側の研究者や技術者が認識することで、日本におけるコンクリート技術開発の新たな方向性も生まれる

可能性がある。そのため、今後もインドネシア、モンゴルそして日本における研究者・実務者が交流し、このセミナーが両者にとって有益となることを期待している。

セミナーでは、日本側から次の5名の発表があった。名古屋大学の中村 光教授からは土木学会によるインフラ診断について説明があった。清水建設（株）の小林 知光氏からは、インドネシア、アサハン地区における水力発電所建設について、その概要とマネジメントの課題等の説明があった。埼玉大学のルアン ヤオ助教からは、スラグ混合セメントの特性に関する最新の研究について説明があった。九州大学の佐川 康貴准教授からは、フライアッシュ、高炉スラグ等の鉱物を混和材として利用したコンクリートに関するガイドラインの説明があった。そして、鹿島建設（株）の取違 剛氏からは、フライアッシュを利用したダム建設における施工管理について説明がなされた。インドネシア側からは、次の3名の発表があった。インドネシア工科大学の Dr. Fadhilah Muslim から、スペーサがコンクリートの耐久性に与える影響について研究成果の報告がなされた。Diponegoro 大学の Prof. Han Ay Lie から、インドネシアにおける FRP による補強事例について説明がなされた。そしてスラバヤ工科大学の Dr. Januarti Jaya Ekaputri から、ボトムアッシュ、フライアッシュを利用した高石炭灰含有のコンクリートについて説明がなされた。そして、モンゴル側からは、モンゴル工科大学の Dr. Batmunkh Narantuya から、モンゴルにおける低品質リサイクル骨材について説明がなされた。

このセミナーは日本、インドネシアそしてモンゴルにおける大学そして産業界から大きな注目を集め、二日間で少なくとも450名を超える視聴者がZoomにより参加している。また、Zoom参加以外にも、YouTubeによる視聴が行われており、総参加者数は500名規模となった。なお、参加者からも多数質問がなされ、その内容は、材料の配合や施工上の実務的課題、品質管理、耐久性など多岐に渡った。以上のように、今回のセミナーは大変盛況なものとなり終了した。

※本ジョイントセミナーは公益信託土木学会学術交流基金の助成により実施しました。



Zoomによるオンラインセミナー



濱田委員長による開会挨拶



中村教授による発表



Han 教授による発表

【記：土木学会 コンクリート委員会】

第 8 回 留学生向け企業説明会 (オンライン)

国際センター・留学生グループでは、2013年から日本で学ぶ留学生を対象に日本の土木関連企業の事業、海外プロジェクト、人事採用などの情報提供を目的に企業説明会を実施している。これまで東京にて毎年、関西圏にて隔年で開催している。第8回となる今回、当初は東京にて例年通り対面形式による実施を予定していたが、コロナ禍の状況を鑑み、オンライン形式にて2020年12月12日(土)に開催した。初の試みであった。



党 紀 (国際センター
留学生グループ)

オンライン開催により遠方からの参加が可能となり、参加する留学生数は昨年度の54名から国内19大学84名に増え、彼らの出身国をみると23か国と多かった。参加企業も同様に、昨年の9社から、今回は13社に増えた。コロナ禍においてもこのように参加企業と留学生数共に増加が見られたことは、オンライン形式による効果だろう。

《 参加企業 》

(株)安藤・間、(株)エイト日本技術開発、(株)大林組、
(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル、鹿島建設(株)、(株)川金コアテック、
五洋建設(株)、TSUCHIYA(株)、戸田建設(株)、日中コンサルタント(株)、日本工営(株)、
(株)マツザワ瓦店、八千代エンジニアリング(株)

本説明会の構成について、2部構成とした。第1部では、冒頭に本説明会の趣旨を説明し、その次に日本企業で活躍する Luisa Santa Spitia 氏 ((株)安藤・間)に「Your Senior's Experience」と題し、日本の大学での研究活動、日本での就職活動、入社後の業務等を講演いただいた(写真1)。

Study and Research Profile

Luisa Santa - Colombia

- 2008: Bachelor - National University of Colombia
 - Civil engineering
- 2013: Master - National Autonomous University of Mexico
 - Civil engineering - Geotechnical engineering
 - Research topic: Study of horizontal joints in Concrete-faced rockfill dams CFRD
- 2017: Doctorate - The University of Tokyo
 - Civil engineering - Geotechnical engineering
 - Research topic: Mechanical properties of soil subjected to internal erosion initiated by suffusion

International Company Information Session - BICT 2020



写真1 Luisa Santa Spitia 氏 ((株)安藤・間) による講演

その後、参加企業による“1分間PR”にて、各社代表者から企業概要や第2部で行う企業セッションの内容を説明いただいた(写真2)。



写真2 企業1分PRを行う代表者と参加者

そして、第2部 企業セッションが始まった。ここでは14時から17時15分までの間、各社4セッション(1セッション・20分)を行い、留学生は最大8セッションへの参加が可能であった。事前に留学生に企業セッション・タイムテーブルと各企業セッションのリンクを通知していたため、留学生はスムーズに企業セッションに出入りができ、関心ある企業のセッションに参加して情報を収集していた。時間帯によって参加者数に変動はあったが、17時15分の終了時間まで、いずれのセッションも参加者が途絶えることはなかった(表1)。

▶ 14:00-17:15 Part 2: Company Sessions & "Sennai" Sessions

	14:00-14:20 (1st Session)	14:25-14:45 (2nd Session)	14:50-15:10 (1st Session)	15:15-15:35 (2nd Session)	15:40-16:00 (3rd Session)	16:05-16:25 (4th Session)	16:30-16:50 (3rd Session)	16:55-17:15 (4th Session)
Web Meeting①	Eight-Japan Engineering Consultants Inc. Meeting URL: http://	HAZAMA ANDO CORPORATION Meeting URL: http://	Eight-Japan Engineering Consultants Inc. Meeting URL: http://	HAZAMA ANDO CORPORATION Meeting URL: http://	Eight-Japan Engineering Consultants Inc. Meeting URL: http://	HAZAMA ANDO CORPORATION Meeting URL: http://	Eight-Japan Engineering Consultants Inc. Meeting URL: http://	HAZAMA ANDO CORPORATION Meeting URL: http://
Web Meeting②	Matsuzawa kawaraten Inc. Meeting URL: http://	OBAYASHI CORPORATION Meeting URL: http://	Matsuzawa kawaraten Inc. Meeting URL: http://	OBAYASHI CORPORATION Meeting URL: http://	Matsuzawa kawaraten Inc. Meeting URL: http://	OBAYASHI CORPORATION Meeting URL: http://	Matsuzawa kawaraten Inc. Meeting URL: http://	OBAYASHI CORPORATION Meeting URL: http://
Web Meeting③	Kawakin Core-Tech Co.,Ltd. Meeting URL: http://	Yachiyo Engineering Co., Ltd. Meeting URL: http://	Kawakin Core-Tech Co.,Ltd. Meeting URL: http://	Yachiyo Engineering Co., Ltd. Meeting URL: http://	Kawakin Core-Tech Co.,Ltd. Meeting URL: http://	Yachiyo Engineering Co., Ltd. Meeting URL: http://	Kawakin Core-Tech Co.,Ltd. Meeting URL: http://	Yachiyo Engineering Co., Ltd. Meeting URL: http://
Web Meeting④	TSUCHIYA CORPORATION Meeting URL: http://	JAPAN-CHINA CONSULTANT CO., LTD. Meeting URL: http://	TSUCHIYA CORPORATION Meeting URL: http://	JAPAN-CHINA CONSULTANT CO., LTD. Meeting URL: http://	TSUCHIYA CORPORATION Meeting URL: http://	JAPAN-CHINA CONSULTANT CO., LTD. Meeting URL: http://	TSUCHIYA CORPORATION Meeting URL: http://	JAPAN-CHINA CONSULTANT CO., LTD. Meeting URL: http://
Web Meeting⑤	TODA CORPORATION Meeting URL: http://	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Meeting URL: http://	TODA CORPORATION Meeting URL: http://	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Meeting URL: http://	TODA CORPORATION Meeting URL: http://	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Meeting URL: http://	TODA CORPORATION Meeting URL: http://	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Meeting URL: http://
Web Meeting⑥	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://	PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD. Meeting URL: http://
Web Meeting⑦	KAJIMA CORPORATION Meeting URL: http://	Nippon Koel Co., Ltd. Meeting URL: http://	KAJIMA CORPORATION Meeting URL: http://	Nippon Koel Co., Ltd. Meeting URL: http://	KAJIMA CORPORATION Meeting URL: http://	Nippon Koel Co., Ltd. Meeting URL: http://	KAJIMA CORPORATION Meeting URL: http://	Nippon Koel Co., Ltd. Meeting URL: http://
Web Meeting (Main Room) Zoom Meeting (USCE Host)	"Sennai (OG&OB)" Session ①		"Sennai (OG&OB)" Session ②		"Sennai (OG&OB)" Session ③		"Sennai (OG&OB)" Session ④	

表1 企業セッションの構成

また、企業セッションに並行して、Santa氏(前述)を含む元留学生のZuo氏((株)川金コアテック)、Amir氏(西松建設(株))、Shi氏(日中コンサルタント(株))の4名に協力いただき「先輩セッション」を実施した。彼らは留学生からの質問に答え、自らの日本での就職経験、就職に必要なスキル、入社後の業務を説明し、留学生と活発に意見交換を行った。

開催方式をオンライン形式に決定する上で、ウェブ会議室への入退室や時間管理等が難しいのでは

ないかと懸念したが、当日は思いのほかスムーズに運営管理できた。そして、我々が思っていた以上に留学生の参加も多かった。事前に Web ページに掲載した企業概要や動画は、参加者が関心ある企業を調べ、積極的に参加するのに役立った。

元々対面式の行事をオンライン形式に変更することになったが、参加企業は入念に準備し、留学生は日本企業への関心が高かったことから、本説明会は有意義なコミュニケーションを図る機会となった。最後に、この場を借りて本企業説明会に多大なご協力を賜った講演者、参加企業ならび参加者に感謝を申し上げる。

【国際センター 留学生グループ 党 紀(埼玉大学)】

お知らせ

【今後の予定】

・Joint Japan-US Symposium on Assessment, Management, and Governance for Infrastructure Resilience (4月14、16、28、30日開催)
<https://www.infraresil.jp/event/01/>

◆1st JSCE Concrete Committee Webinar "Frontiers of Concrete Technology"
Webinar Title: Use of FRP Composites for Sustainable Concrete Structures
(4月16日開催) : <https://www.jsce-int.org/node/705>

◆世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ 第18回シンポジウム
「モンゴル国首都空港の建設・育成・運営の挑戦:新ウランバートル国際空港プロジェクト」(5月31日開催)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/215>

◆「海外インフラプロジェクトアーカイブス (JSCE ウェブサイト英語版)」

<http://www.jsce.or.jp/e/archive/>

◆インフラ整備 70年 講演会「長野県の峠を貫くトンネル -安房峠と権兵衛峠-」4月19日開催(主催:(一社)建設コンサルタンツ協会)

<https://www.jcca.or.jp/infra70/%e7%ac%ac19%e5%9b%9e%e8%ac%9b%e6%bc%94%e4%bc%9a-%e3%80%80%e9%95%b7%e9%87%8e%e7%9c%8c%e3%81%ae%e5%b3%a0%e3%82%92%e8%b2%ab%3%81%8f%e3%83%88%e3%83%b3%e3%83%8d%e3%83%ab-%e3%80%80%ef%bc%8d%e5%ae%89/>

◆PIANC アジアセミナー2021 (ウェビナー) ~沿岸域防災(津波、高潮・高波)~ (5月11日開催)

<https://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/213>

◆第9回アジア土木技術国際会議(CECAR9)

<http://www.cecar9.com/>

◆国際センターYouTubeチャンネル

https://youtube.com/channel/UCGIs6DHzX_cGD-mHUrRlK

アソシエイトメンバー
お申込みはこちら↓

[Associate Member |
Japan Society of Civil
Engineers \(jsce-int.org\)](#)

土木学会tv

土木学会 tv

<https://www.youtube.com/channel/UCiJWxx>

◆数字で見る土木学会（見える化データ 2020）

<https://committees.jsce.or.jp/kikaku/jsce-at-a-glance>

◆「旅に出たくなる日本の土木遺産」大河津分水 SNS 投稿
まとめ（土木学会 note）

<https://note.com/jsce/n/nc7d5a9096192>

◆第 17 回世界地震工学会議（17WCEE）
（ハイブリッド形式）

<http://www.17wcee.jp/>

◆9th International Conference on Experimental
Vibration Analysis for Civil Engineering
Structures (EVACES2021)

<https://ec-intl.co.jp/evaces2021/>

◆第 166 回論説(2021 年 3 月版) オピニオン

(1) 塩素消毒百年と二人の医師のこと

<https://note.com/jsce/n/n0f7a48b140e0>

(2) 橋梁の設計について

<https://note.com/jsce/n/na8143e84e0d7>

◆一般社団法人 海外建設インフラ協会:

<http://o-ira.com/>

※「アジア経済新聞」（隔月曜日発行） 土木会館に於いて閲覧可能。

◆「国際センターだより」※JSCE ウェブサイト（日本語版）

http://committees.jsce.or.jp/kokusai/iac_dayori_2020

◆土木学会誌 2021 年 4 月号 ※JSCE ウェブサイト（英語版）

<http://www.jsce-int.org/pub/magazine>



D & I カフェトーク

—身近にあります。多様な働き方や生き方。そんなお話を聞いてみます。—

<https://committees.jsce.or.jp/diversity/>

配信申し込み

「国際センター通信」配信希望者 登録フォーム

- ・日本語版: (<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/31>)
- ・英語版: (<http://www.jsce-int.org/node/150>)

英語版 Facebook

直近の国際センターの活動について紹介しています。
(<https://www.facebook.com/JSCE.en>)

【ご意見・ご質問】 JSCE IAC: iac-news@jsce.or.jp

皆様のご意見やコメントをお待ちしております。